

## 静岡県借行会総会及び自衛隊 協力諸団体との連絡会同

静岡県借行会副会長兼東部部長

柴田 晃次（陸自69）

静岡県借行会は5月12日（土）御殿場市市民交流センターにおいて平成30年度県総会を地元若林御殿場市長他ご来賓臨席のもと斉整と実施した。役員の改選において阿部会長が再選、副会長に2名が新任され新たな阿部体制でスタートする

こととなった。

総会終了後、定免静岡地方協力本部長の講話を拝聴し、我が国周辺の脅威の実態と自衛隊入隊適齢者減による募集の困難性について再認識し、会員一同さらなる協力・支援が必要であると強く感じた次第である。

その後防衛省・自衛隊に対する協力諸団体の連絡会同に移った。静岡県東部には陸上自衛隊4個駐屯地が所在し多くの協力諸団体があるが、各団体は独自に行動しているので他の団体の活動を理解し連携・協力ができないかとの狙いで、借行会が幹事となり昨年から実施しているものである。

会同は自衛隊側から県東部地区に所在



する陸自4個駐屯地の業務隊長等、静岡地方協力本部長、行政から県議、御殿場市危機管理監、協力団体から防衛協会、遺族会、裾野市自衛隊協力会、防衛博物館創る会、県家族会、県隊友会と県偕行会の14団体が参加して実施された。

部隊側から各駐屯地の最新状況の説明、イベントの予定等、地本から募集、援護の最近の状況と今後の見通し、それに対する協力支援の要望、イベントの予定について説明。行政から和田県議より防衛議員連盟の活動状況について、御殿場市の杉本危機管理監から自衛官OBの全国における配置状況、御殿場市の防災訓練状況、御殿場市のOB採用状況について説明が行われた。

各協力団体からは現在の活動状況、会員の構成状況、入会促進の施策、ボランティア活動の細部について説明・紹介。各団体発表の都度、活発な質疑応答があり和やかなうちにも今後の支援・協力要領について方向性は見えてきたと思われる。

又多くの団体が抱えている会員の高齢化に対して全員が入会促進の要望を共有し、会を活性化させることがより効果的な協力支援につながることを銘肝し、約2時間にわたる会同を終了した。